

令和元年7月

平成31年	4月 ~	6月期	実績
令和元年	7月 ~	9月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

目次

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

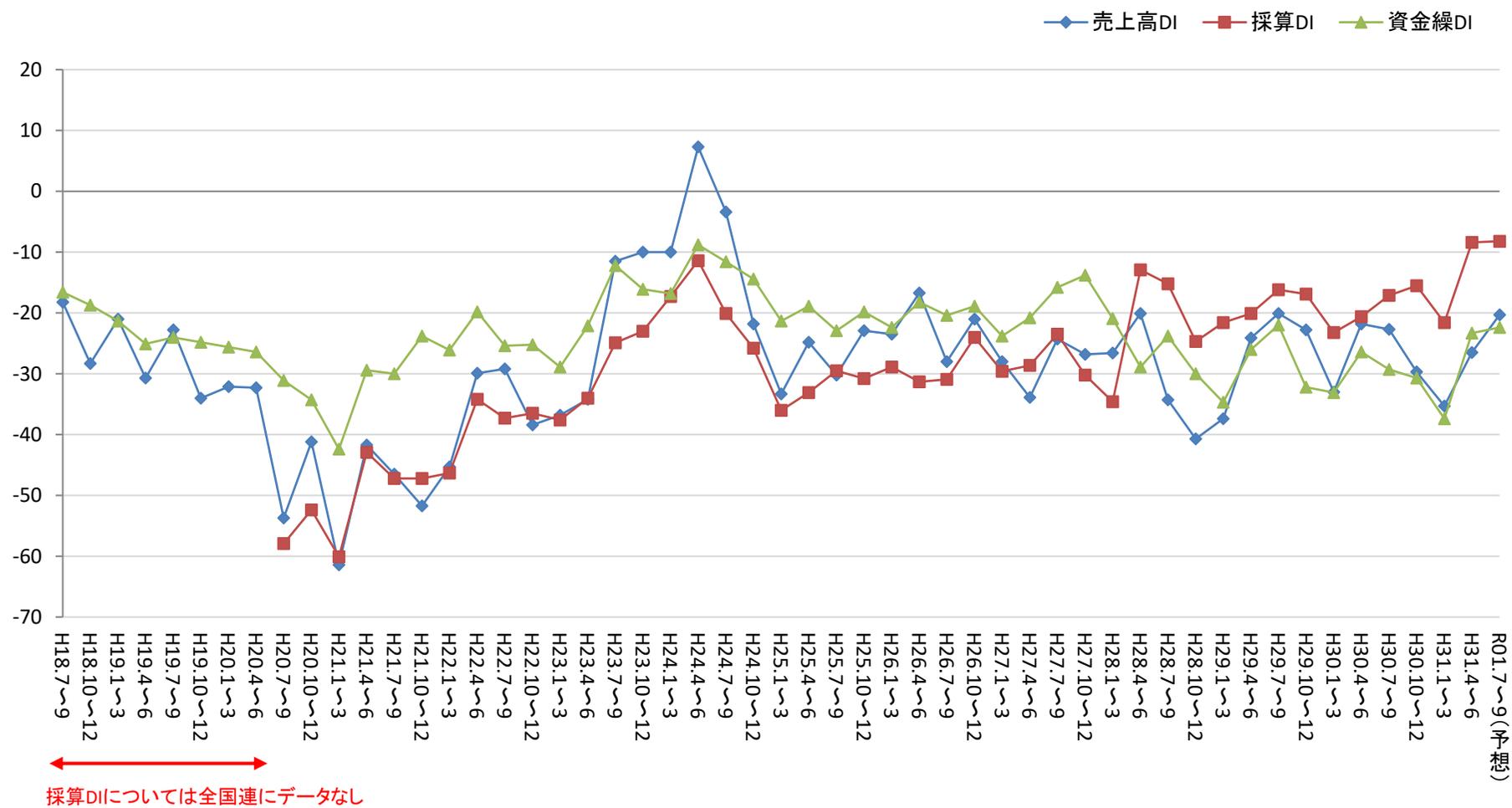
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き ー前年同期比ー



業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成29年		平成30年		平成31年		(見通し)		
	7~9	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
製 造 業	 曇	 薄曇	 曇	 薄曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇
建 設 業	 薄曇	 曇	 雨	 雨	 曇	 雨	 曇	 薄曇	 曇
小 売 業	 雨	 雨	 雨	 雨	 曇	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 曇	 曇	 雨	 曇	 曇	 曇	 雨	 曇	 薄曇

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快晴	 晴	 薄曇	 曇	 雨

全産業の推移

売上高

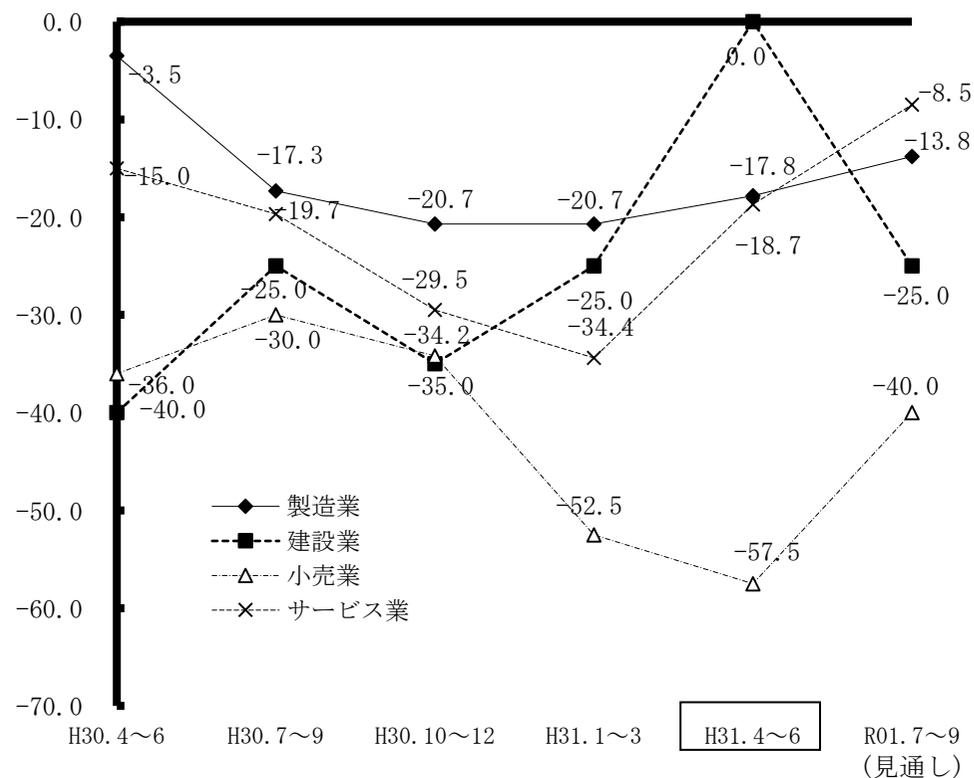
建設業、サービス業が大幅に上昇
製造業は小幅に上昇、小売業が連続して低下

今期は、建設業が25.0ポイント増加して0.0まで上昇、3期連続して低下していたサービス業が増加に転じ、15.7ポイント増加して△18.7まで上昇しました。

また、製造業も小幅ながら2.9ポイント増加して△17.8となり、マイナス幅を縮小しています。小売業は、3期連続の減少となり、直近4期の比較で最も低下しています。

来期は、3期連続して低下していた小売業の大幅な上昇、サービス業、製造業も上昇が予想されています。

他方、今期大幅に上昇した建設業は一転して大幅な低下が予想されています。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

採算

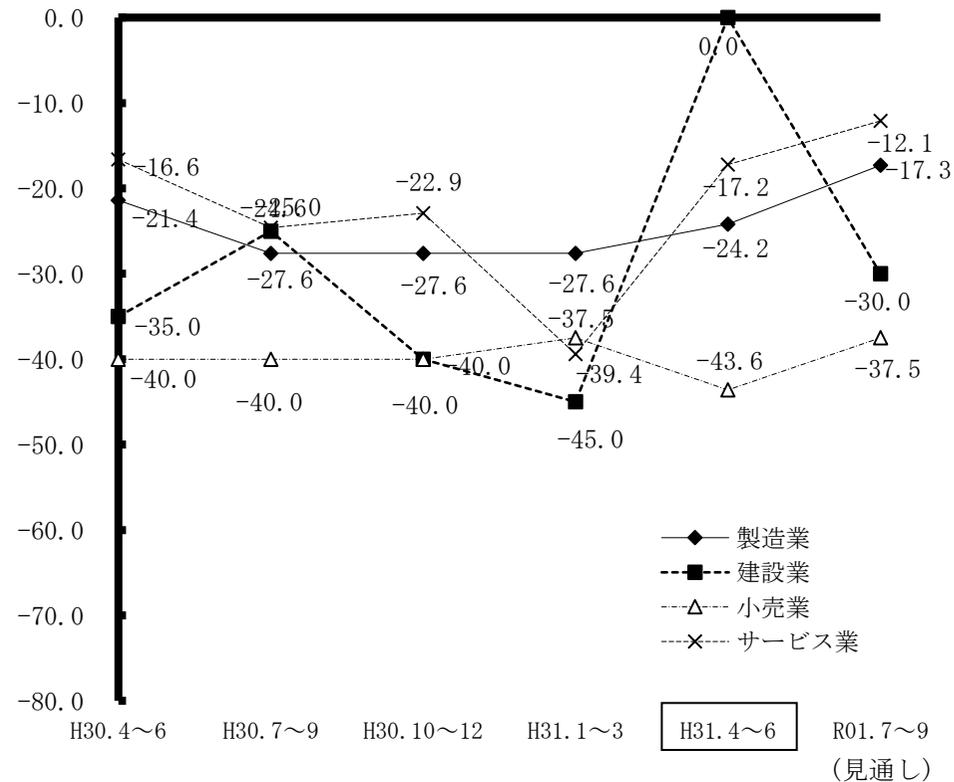
**建設業、サービス業が大幅に改善
製造業が小幅に改善、小売業は悪化**

今期は、建設業が45.0ポイントと、大幅に増加して0.0まで改善しました。サービス業が22.2ポイント増加して△17.2まで改善、製造業も3.4ポイントと小幅ながら増加して△24.2まで改善しました。

小売業は6.1ポイント減少して△43.6まで悪化し、マイナス幅を拡大しています。

来期は、製造業、サービス業は引き続き改善、今期悪化した小売業も改善が見込まれます。他方、今期大幅に改善した建設業が再び大幅な悪化に転じることが予想されています。

※採算は各業種とも経常利益



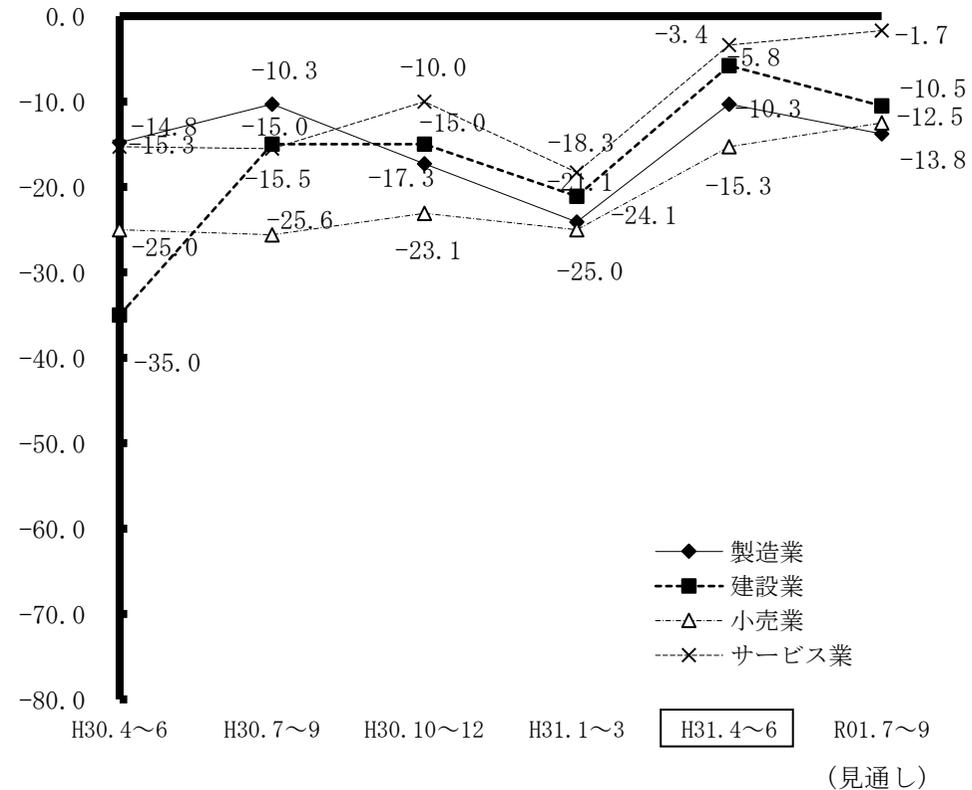
全産業の推移

資金繰り

全業種で資金繰りD・Iが改善

今期は、サービス業が14.9ポイント増加して△3.4まで改善、建設業が15.3ポイント増加して△5.8まで改善しました。製造業においては、13.8ポイント上昇して△10.3まで改善、小売業も9.7ポイント増加して△15.3までマイナス幅を縮小しています。

来期は、サービス業、小売業において引き続き改善することが見込まれますが、建設業、製造業においては悪化することが予想されています。



売上高

<今 期>

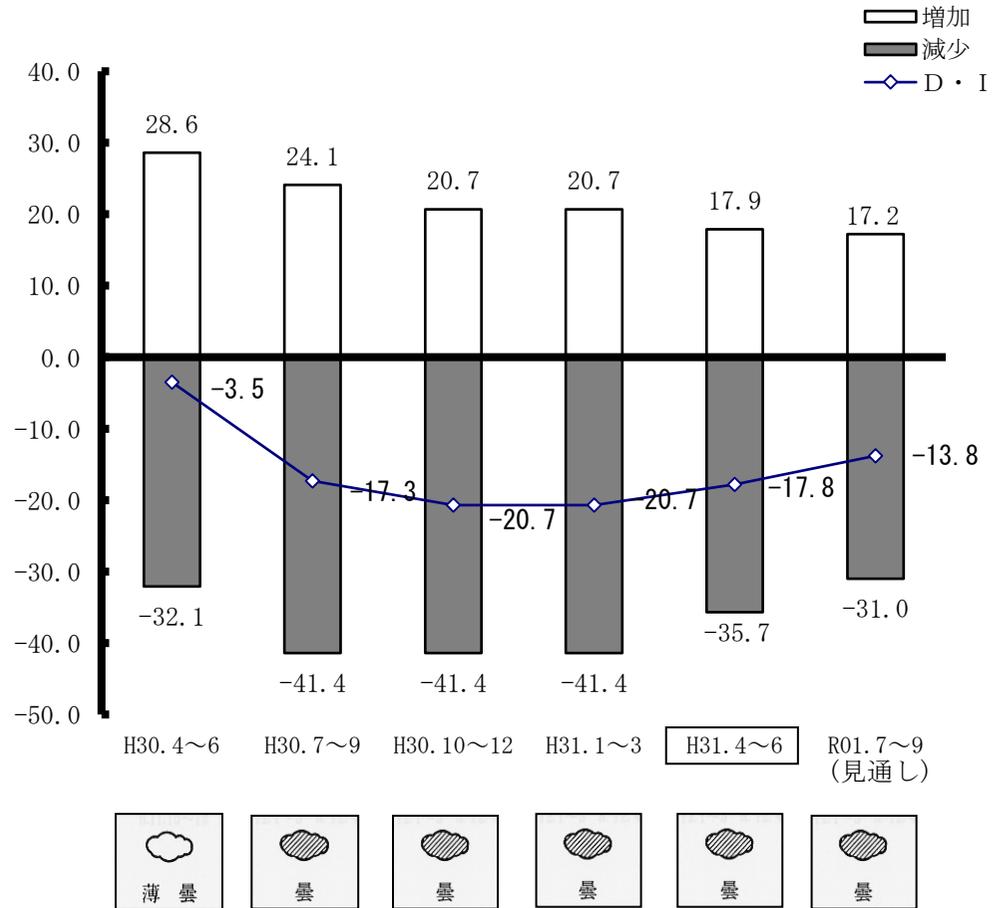


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業、売上高減少企業の割合はともに減少し、売上高D・Iは2.9ポイント増加して△17.8まで上昇しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業割合が小幅に減少するものの、売上高の減少を予想する企業割合も減少が見込まれることから、売上高D・Iは引き続き上昇することが予想されています。



製造業の推移

採算

<今 期>

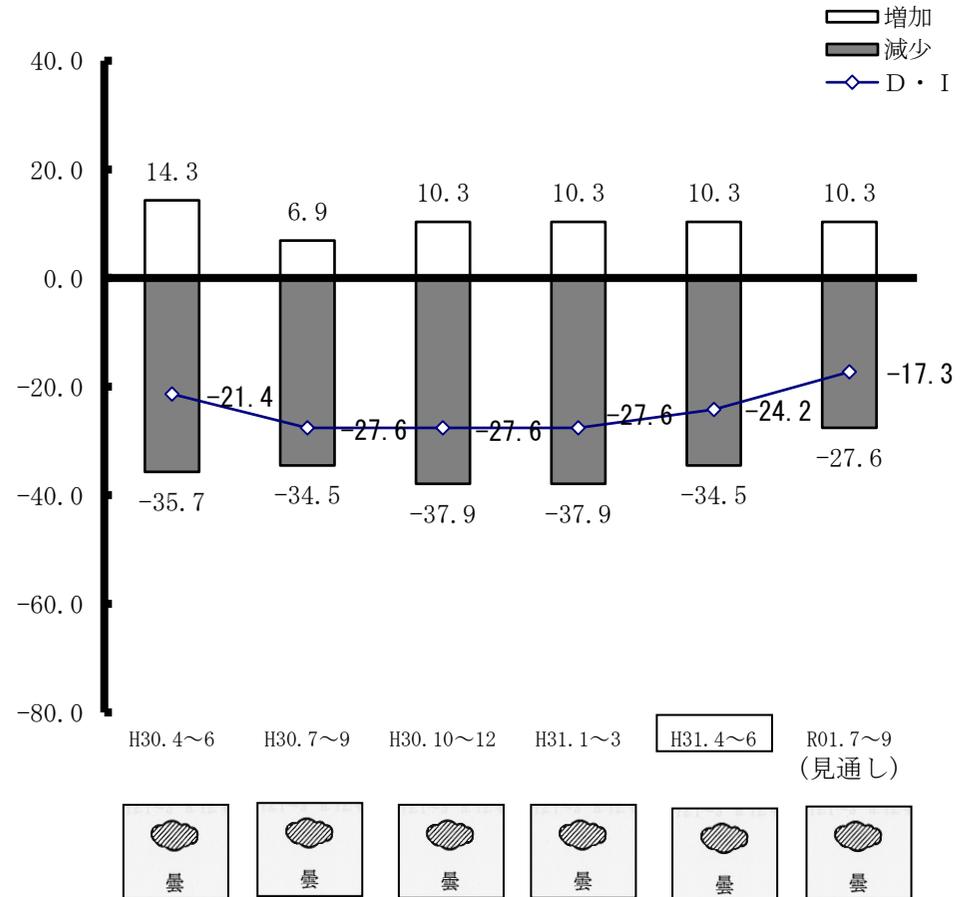


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が横ばいとどまったものの、採算が悪化した企業の割合が減少したため、採算D・Iは3.4ポイント増加し、△24.2まで改善しました。

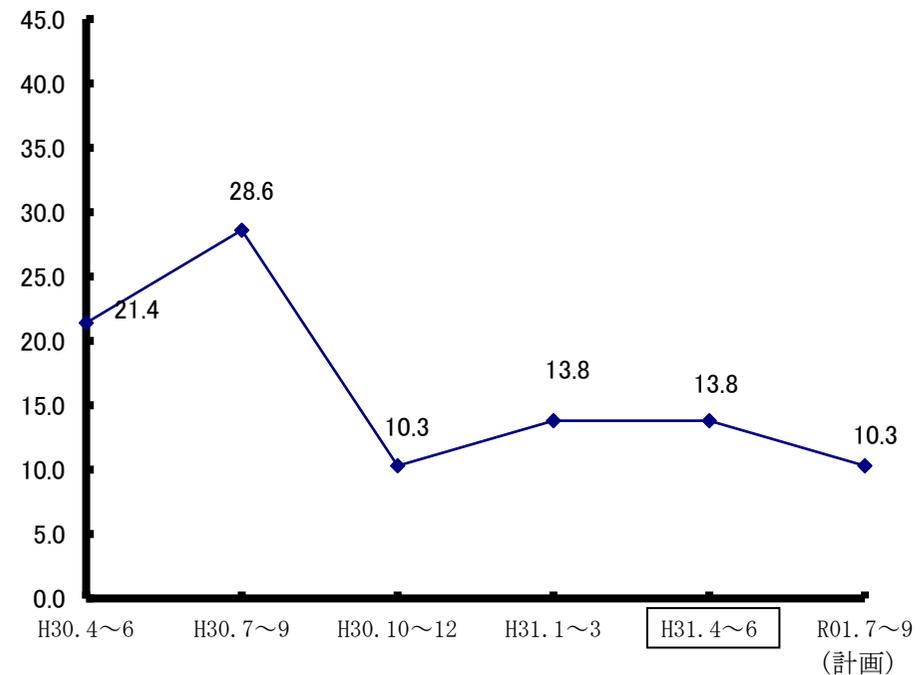
来期は、採算の改善を予想する企業は横ばいとどまるものの、採算の悪化を予想する企業割合が減少すると見込まれることから、採算D・Iは引き続き好転する見通しです。



設備投資

今期は、設備投資を実施した企業数の割合は前期と同じ、13.8となっています。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合は、10.3まで減少する見通しです。



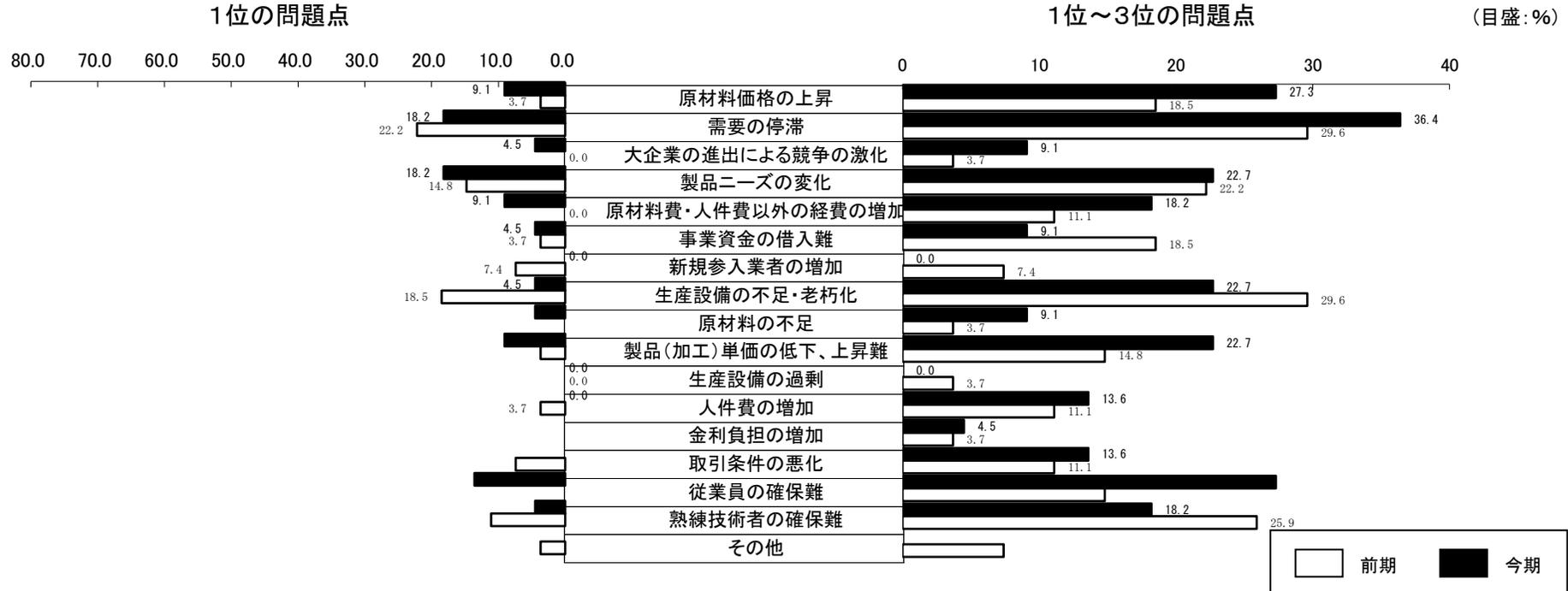
(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

製造業の推移

経営上の問題点

岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



建設業の推移

売上高

<今 期>

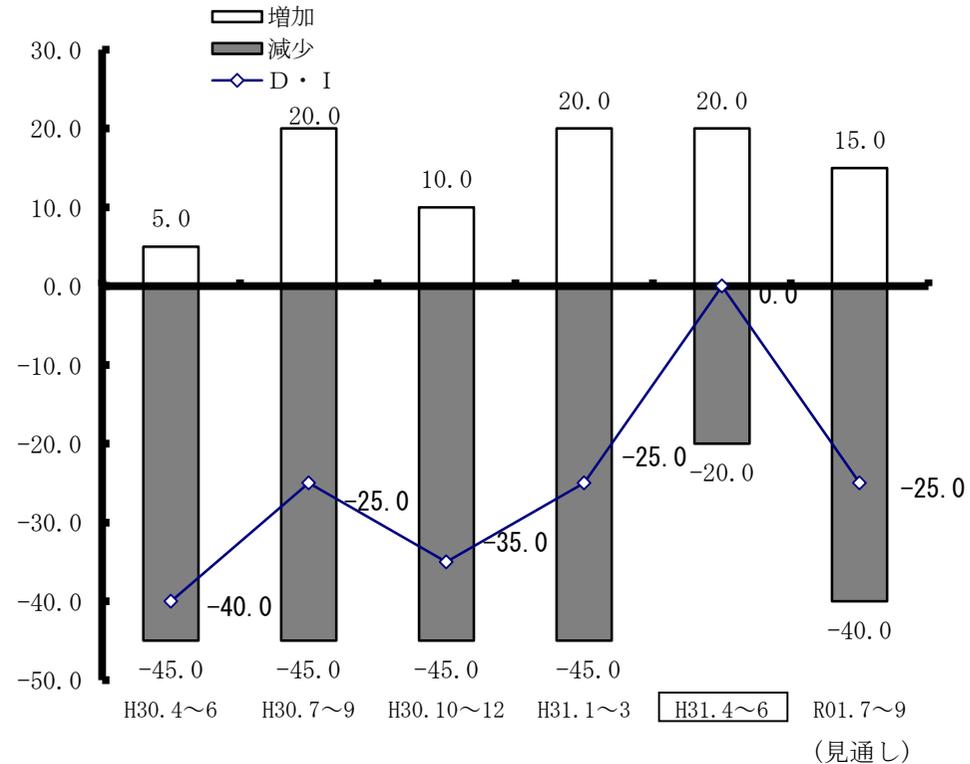


<来期見通し>



今期は、売上高が増加した企業割合は前期と変わらなかったものの、売上高が減少した企業割合が大幅に減少したことにより、売上高 D・I は大幅に上昇してマイナス幅を縮小し、0.0 まで上昇しました。景況天気図も曇から薄曇りへと変化しています。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合が減少し、売上高の減少を予想する企業の割合が大幅に増加すると見込まれることから、売上高 D・I は大幅に低下する見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>

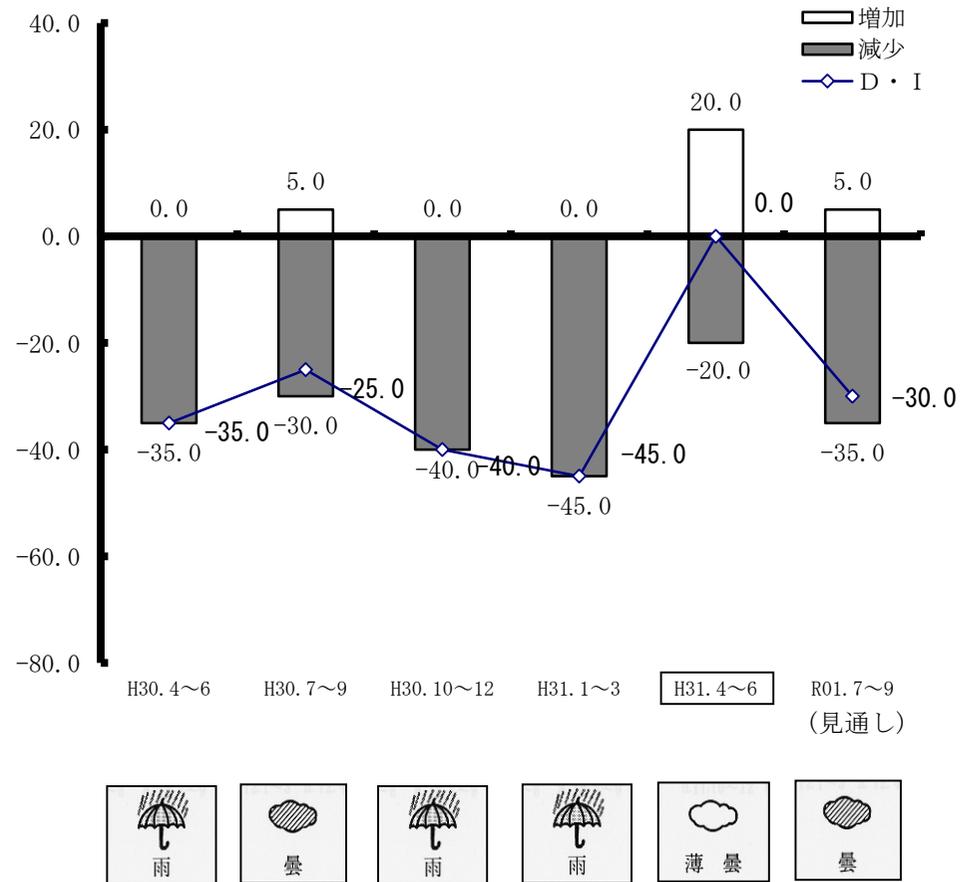


<来期見通し>



今期は、採算好転を挙げた企業の割合が20.0ポイント増加し、採算が悪化した企業の割合が25.5ポイント減少したため、採算D・Iは45.0ポイントの大幅な増加となり、0.0まで改善しました。景況天気図も雨から薄曇りへと変化しています。

来期は、採算の好転を予想する企業割合が減少し、採算の悪化を予想する企業が増加となることから、採算D・Iは悪化する見通しです。



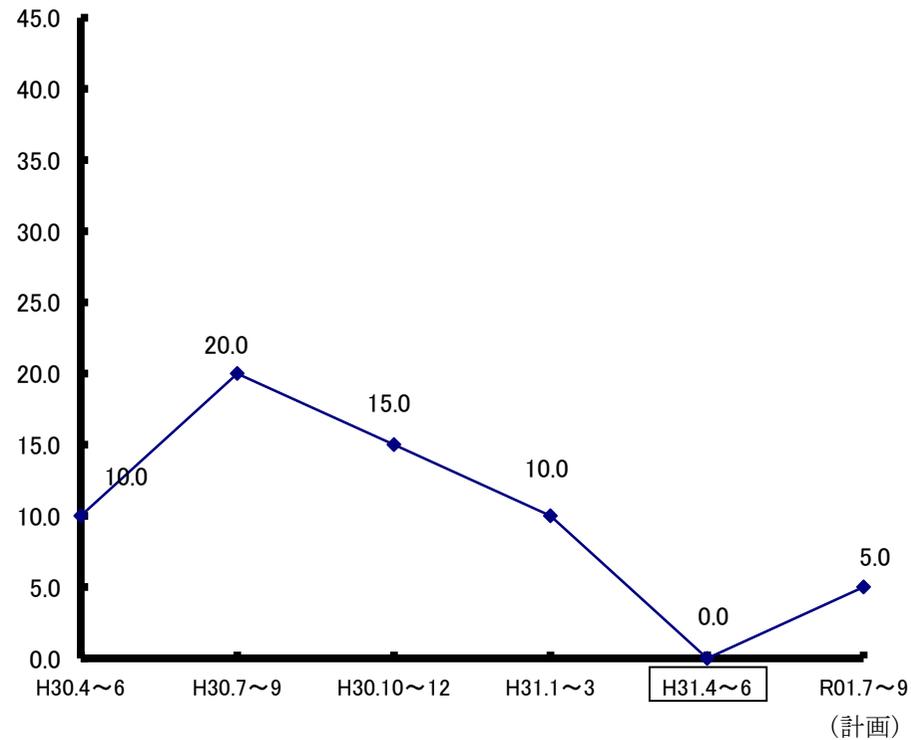
建設業の推移

設備投資

今期、建設業において設備投資を実施した企業数の割合は10.0ポイント減少して0.0まで低下し、3期連続の低下となりました。

来期は、設備投資を予定する企業数の割合は増加が見込まれ、5.0まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

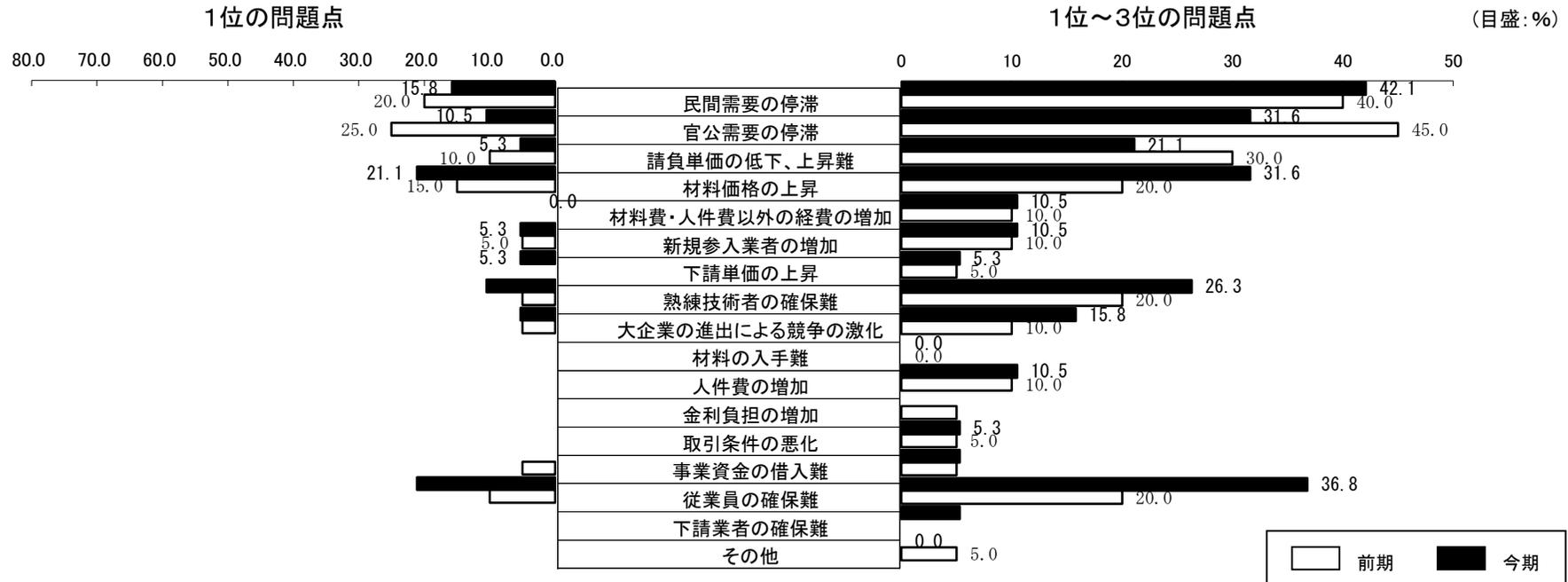


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小売業の推移

売上高

<今 期>

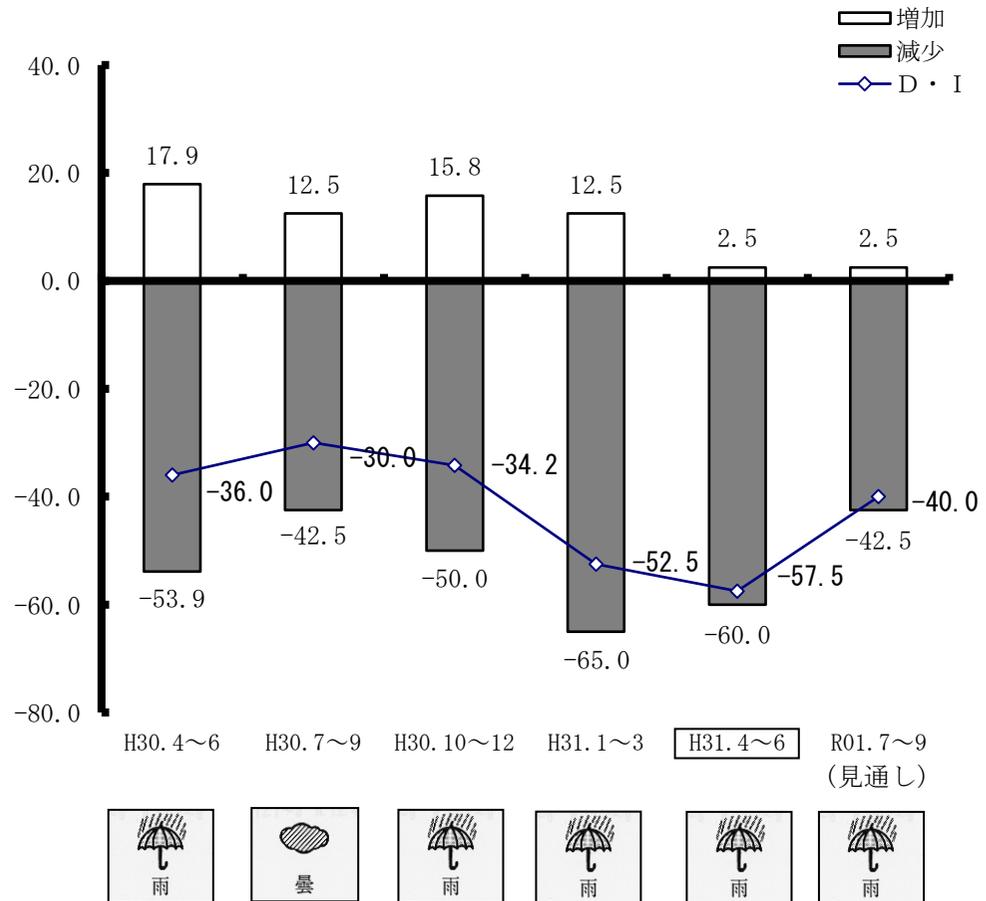


<来期見通し>



今期は、売上高減少企業の割合が減少したものの、売上高増加企業の割合が小幅な増加にとどまったことにより、売上高D・Iは5.0ポイントの減少となり、3期連続の減少により△57.5まで低下しています。

来期は、売上高増加を予想する企業割合は今期と変わらないものの、売上高減少を予想する企業割合が減少するため、売上高D・Iは上昇に転じる見通しです。



小 売 業 の 推 移

採 算

<今 期>

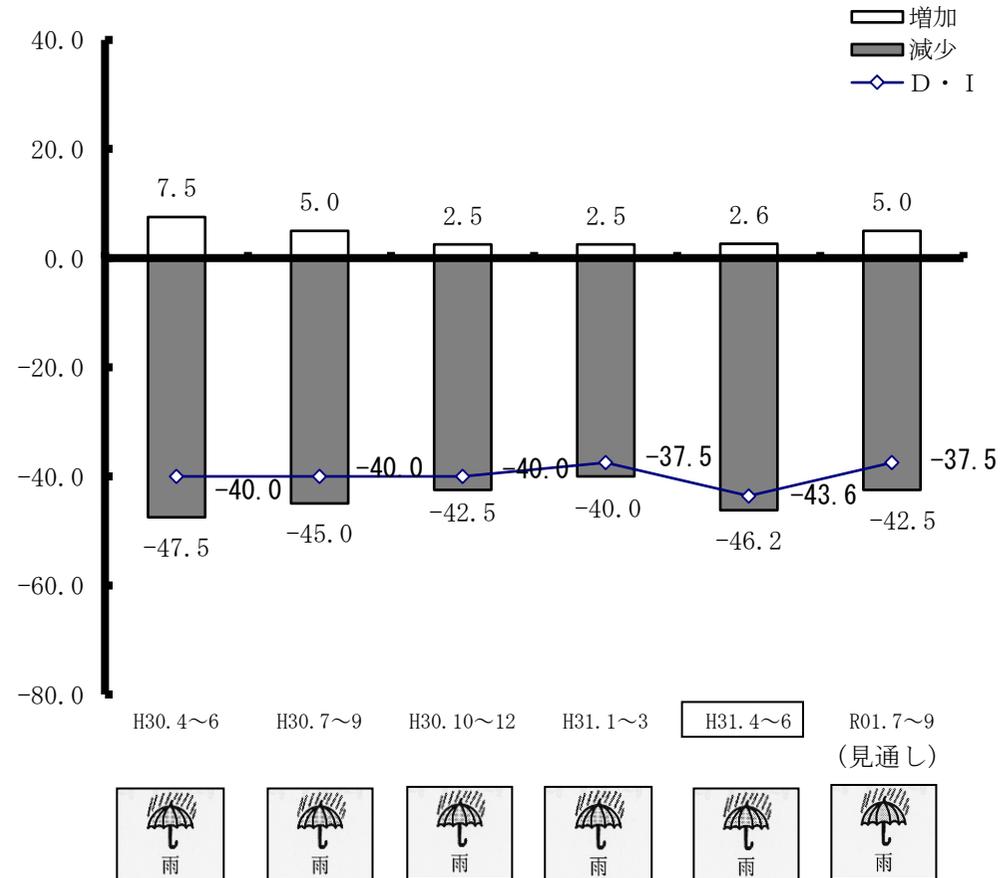


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業割合は、ほぼ横ばいでしたが、採算が悪化した企業の割合が増加したため、採算D・Iは低下し△43.6まで悪化しました。

来期は、採算の好転を予想する企業割合が増加し、採算の悪化を予想する企業割合が減少するため、マイナス幅が縮小し、採算D・Iは△37.5まで改善する見通しです。

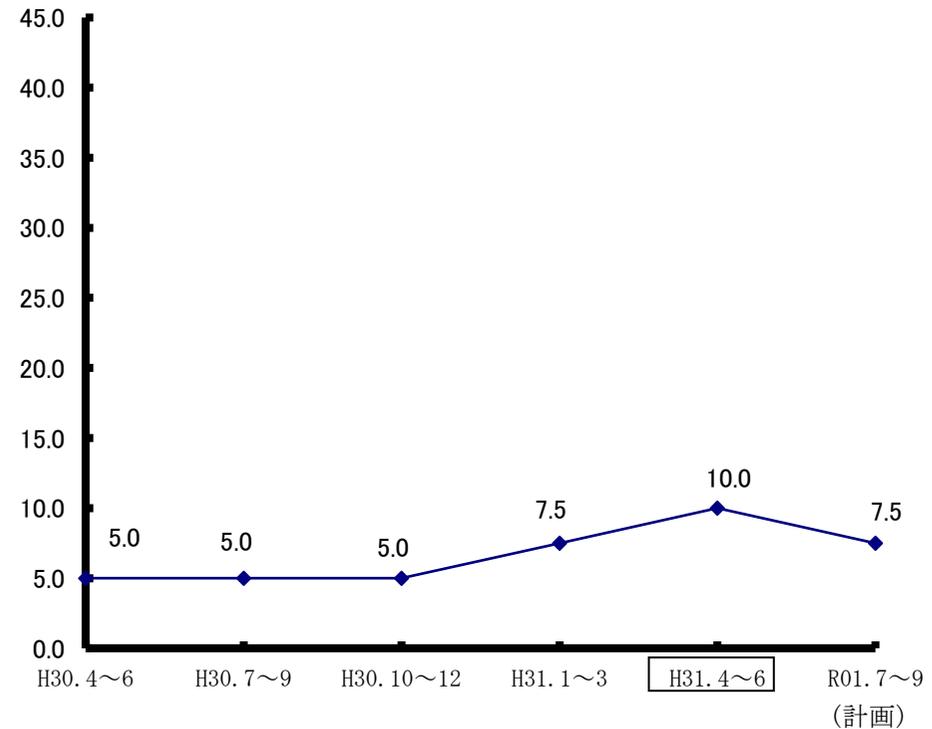


設 備 投 資

今期、設備投資を実施した企業数の割合は、10.0となり、2期連続しての増加となりました。

来期は、設備投資を計画している企業数の割合が減少に転じ、7.5となる見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



小売業の推移

経営上の問題点

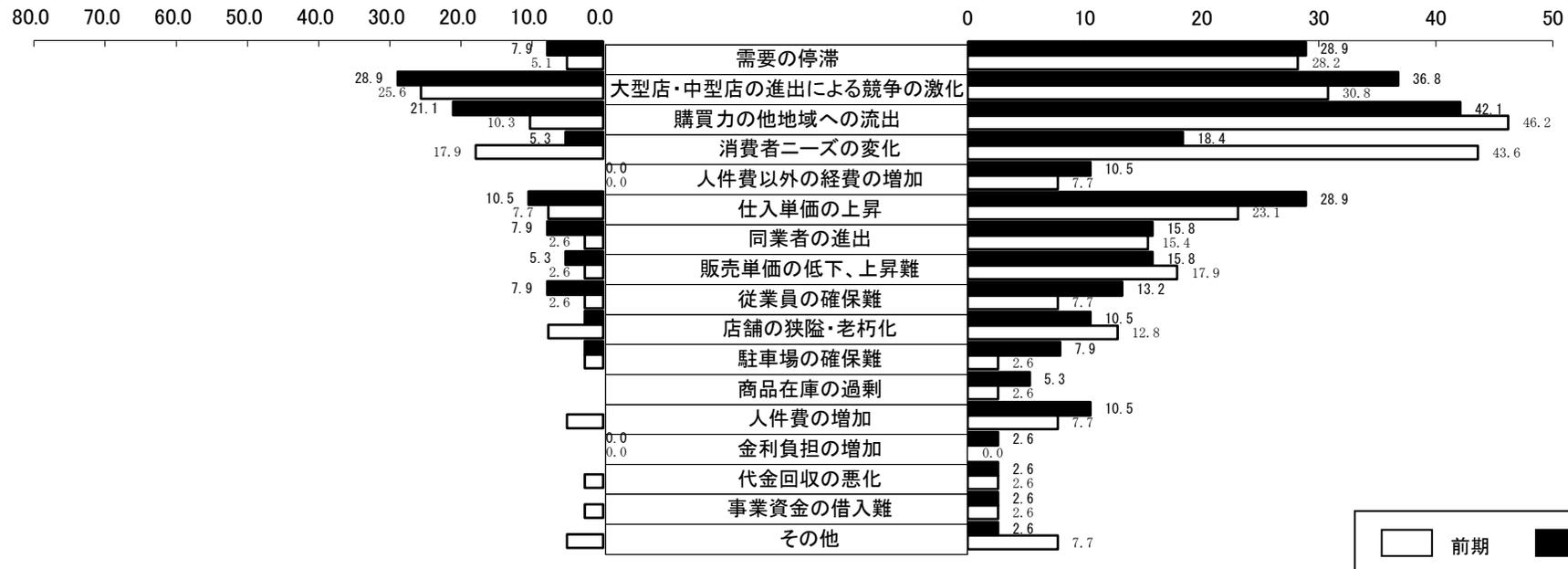
岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



サービス業の推移

売上高

<今 期>



曇

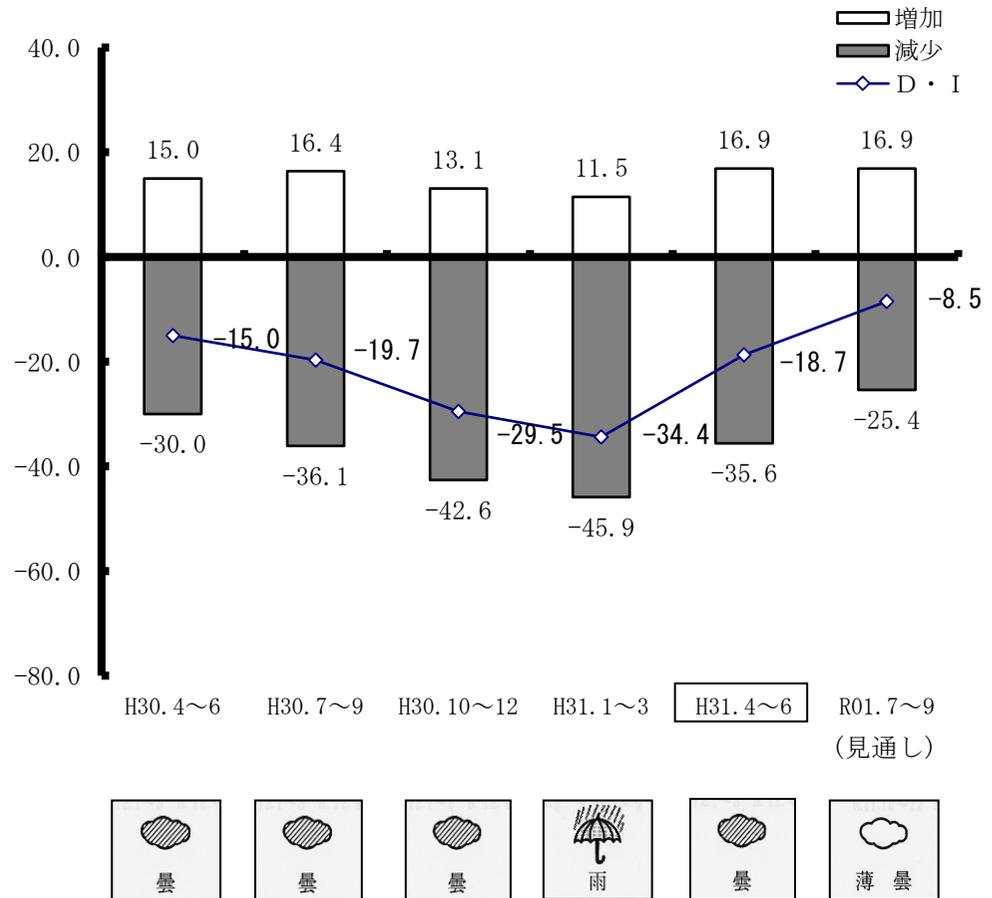
<来期見通し>



薄曇

今期は、売上高増加企業の割合が増加し、売上高減少企業の割合も10.3ポイント減少したため、売上高D・Iは15.7ポイント増加してマイナス幅がを大幅に縮小し、△18.7まで上昇しました。景況天気図も雨から曇へと変化しています。

来期は、売上高増加を予想する企業割合は横ばいとどまるものの、売上高減少を予想する企業の割合が減少することから、売上高D・Iは引き続き増加し、8.5まで上昇する見通しです。



サービス業の推移

採算

<今 期>

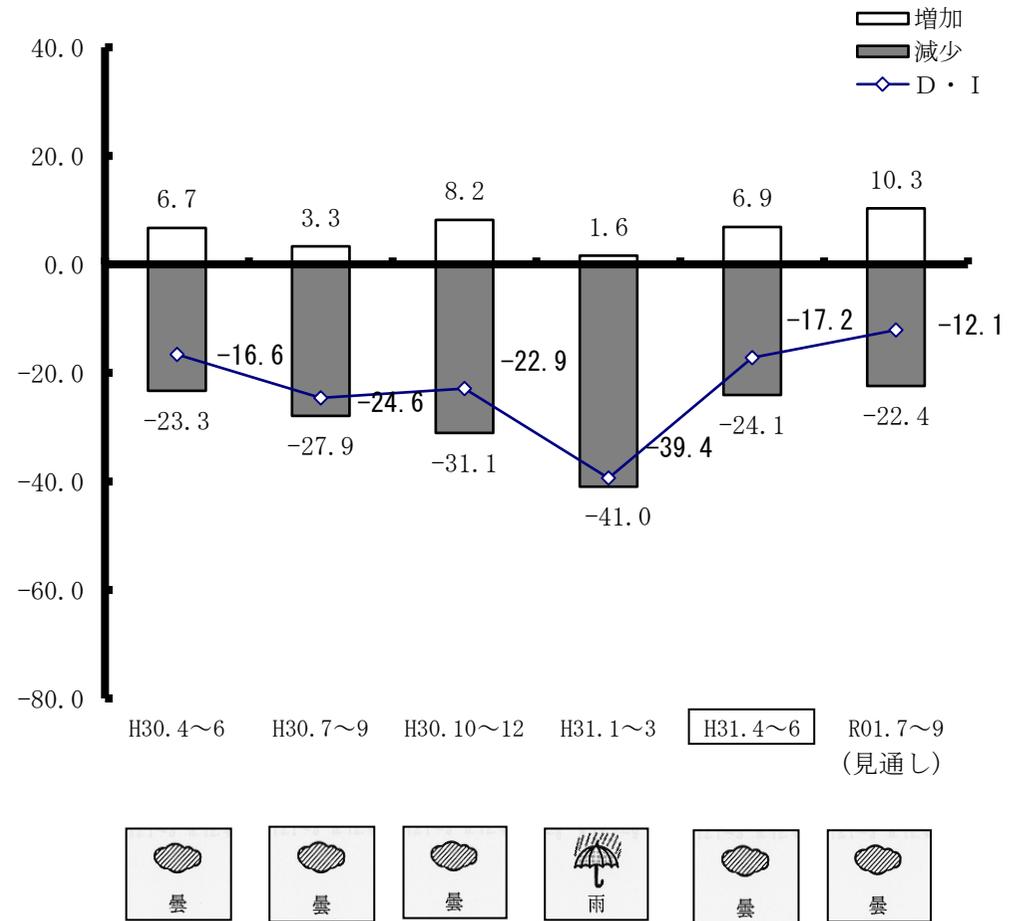


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業割合が5.3ポイント増加し、採算が悪化した企業割合が16.9ポイント減少したことから、採算D・Iは22.2ポイントの大幅な増加となり、 $\Delta 17.2$ まで改善しました。景況天気図も雨から曇へと変化しています。

来期は、採算の好転を予想する企業割合が引き続き増加し、採算の悪化を予想する企業割合が減少することから、採算D・Iは $\Delta 12.1$ まで改善する見通しです。

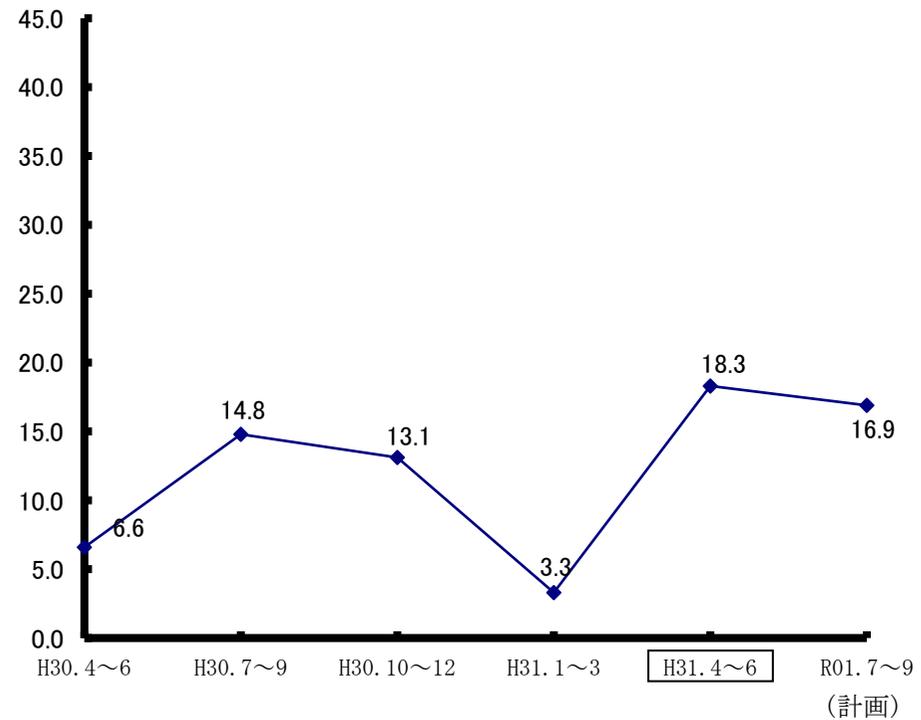


設備投資

今期は、設備投資を実施した企業数の割合は15.0ポイント増加し、18.3まで大幅に上昇しました。

来期は、設備投資を実施する企業数の割合が減少に転じることが予想され、16.9まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

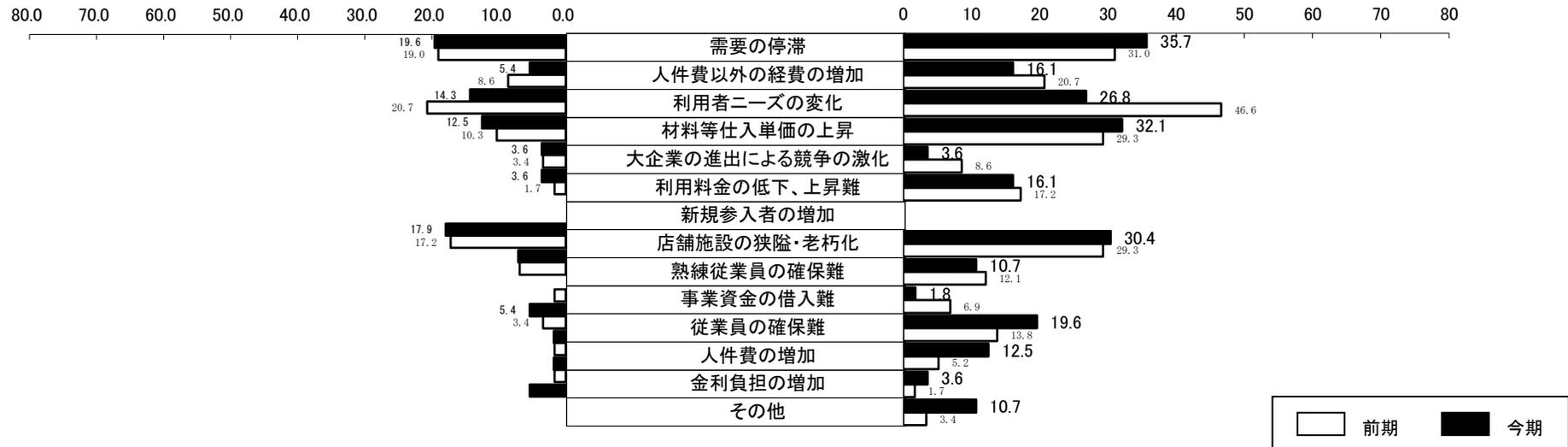
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

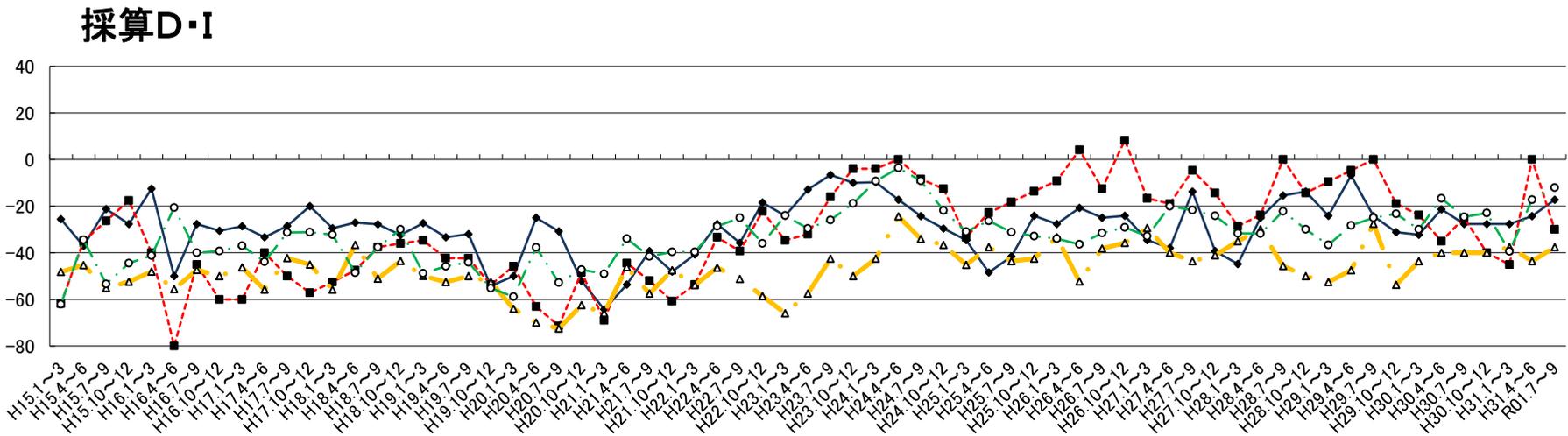
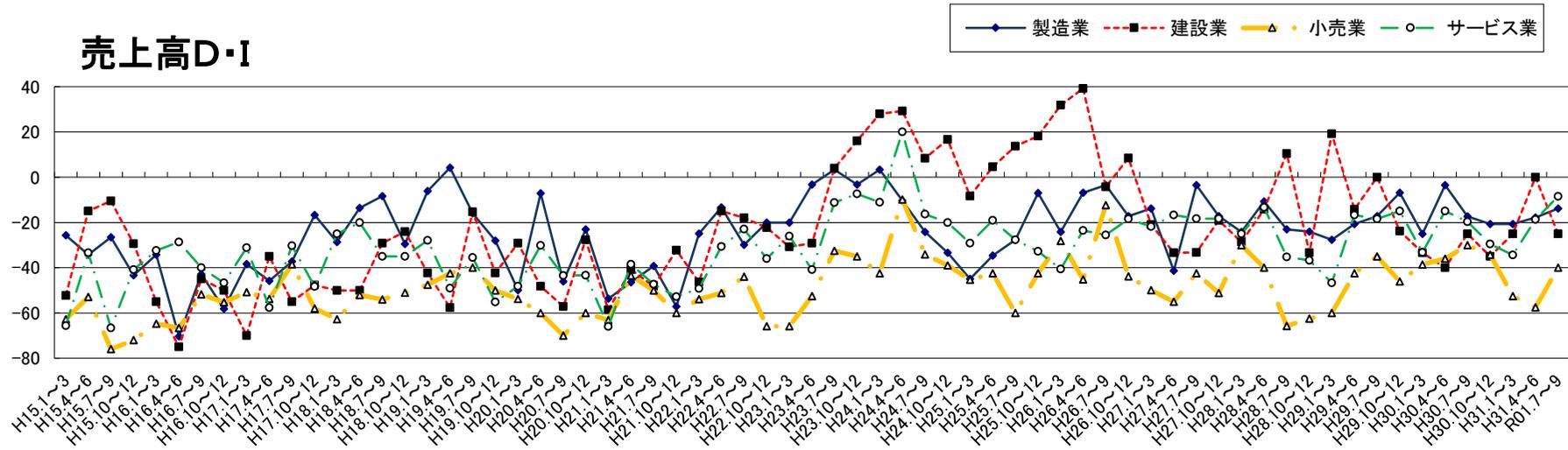
1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛: %)



全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 二戸市、雫石、岩手町、滝沢市、前沢
(商工会名) 金ヶ崎町、山田町、田野畑村、普代、九戸村
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 149 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成31年4月～6月を対象とし、調査時点は令和元年6月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		29 (19.3)	29 (19.5)	100.0
建設業		20 (13.3)	20 (13.4)	100.0
小売業		40 (26.7)	40 (26.8)	100.0
サービス業		61 (40.7)	60 (40.3)	98.4
		150 (100.0)	149 (100.0)	99.3

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。